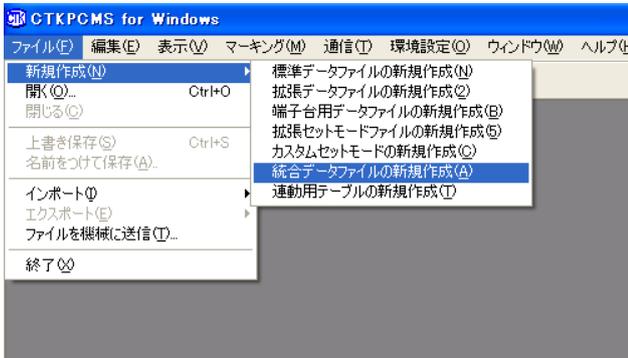


統合ファイルマーキング簡易マニュアル (漢字や記号の入力方法)

1. 新規ファイル作成



- 1 ファイル(F) → 新規作成(N) → 統合データファイルの新規作成(A) をクリック

2. 統合データファイル設定の入力



- 2 Windows Font にチェックを入れる

- 3 保存先テーブルを設定 (20)

(注) SP 本体のテーブル番号 20 に設定値が
上書きされます

- 4 文字の書体を選ぶ (MS UI Gothic)

(注) 「MS P ゴシック」等の P タイプは
マーキング文字どうしの隙間がないため
設定おすすめできません

WWWW

太文字ボタン

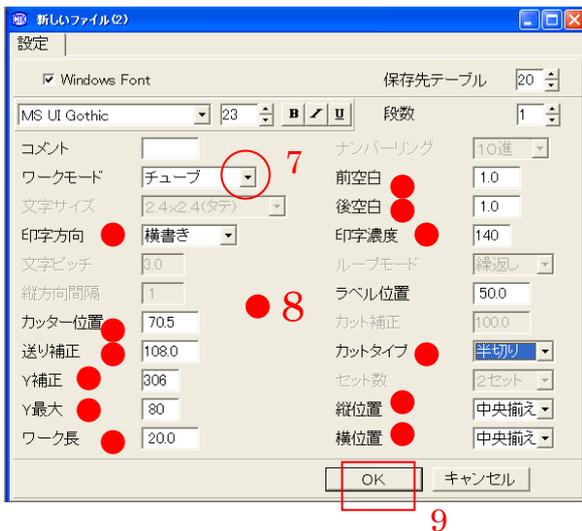


- 5 ポイントの数字で文字の大きさを
設定します (23 ポイント)

※ 16ポイント以下の小さな文字の場合
文字線幅が細く、マーキングが薄くなります。
その場合、**B** (太字) ボタンをクリック。

- 6 段数を設定(1)

※ 2段印字の場合、「2」に設定



7 ワークモードを選択します (チューブ)

8 選択したワークモードと同じ SP 本体
テーブル設定値を参考にしながら
各テーブル値を設定します

(注) Y 補正の値は本体と同じ設定にして
下さい

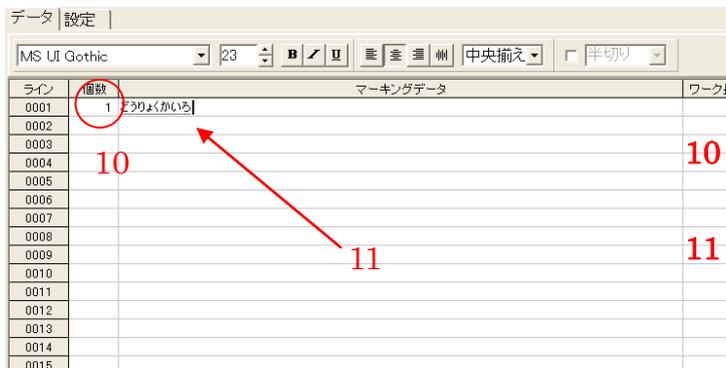
※ サーマルヘッド 取付け位置でかわります

9 **OK** ボタンをクリック

※ SP 本体のテーブル値を参考にして入力

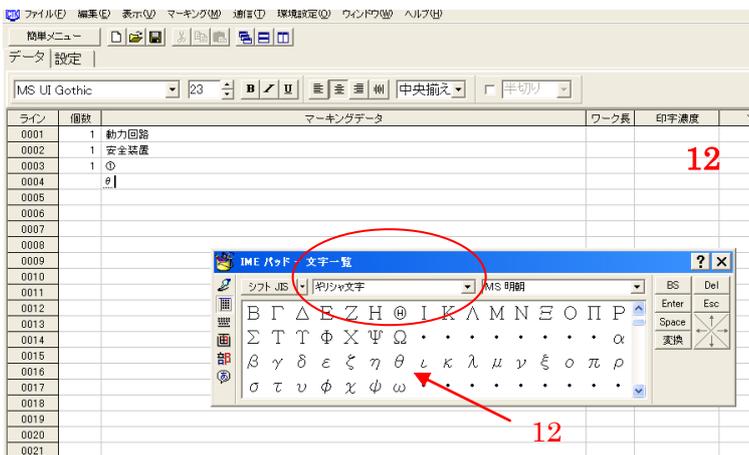
カッター位置	70.5	送り補正	108.0	Y 補正	306
Y 最大	80	ワーク長	20.0	前空白	1.0
後空白	1.0	印字濃度	140	カットタイプ	半切り
縦位置	中央揃え	横位置	中央揃え		

2. 統合データファイルデータの入力



10 個数入力(半角 1)

11 かな入力(全角 どうりょくかいり)



12 IME パッド 文字一覧 ギリシャ文字から
「θ」をクリック

3. アース記号の入力

13 「、」「。」を入力

14 カーソルを「Font」項目に移動

15 書体プールダウンメニューから CTK 書体を選択クリック

16 マーキングデータの表示がアース記号に変わります
※ 丸付き・丸なしアース記号

17

4. マーキング

17

17 メニューの「マーキング (M)」をクリック
「範囲を指定してマーキング (M)」をクリック

- ① SP 本体マーキングセッティング (ワークをセット、ヘッド降ろす等)
- ② マーキング範囲等を指定して、**OK** ボタンをクリックするとマーキングが開始されます